

いぬなし青葉

令和6年9月18日

第11号

校長 山下英樹



山手中HP

4月に3年生を対象に全国学力・学習状況調査を、1・2年生を対象にみえスタディチェックを、また、6月に全校生徒を対象に生活実態調査を行いました。その結果と分析です。字が多くて大変ですが、お家でじっくり読み、自分自身の学習や生活を振り返り、これからの取組や成長につなげましょう。

【保護者の皆様へ】お子様と一緒に読んでいただき、今後の成長につなげていただければ幸いです。

全国学力・学習状況調査、みえスタディチェック、生活実態調査の結果および分析

全国学力・学習状況調査（以下、全国学調）は、全国の中学3年生全員を対象に、学力及び学習状況等の把握を目的に、2007年から始まった調査です。全国との比較ができ、本校の強みや課題が把握できます。みえスタディチェック（以下、みえスタ）とは、全国学調の解答状況を分析して三重県教育委員会が作成した問題で、数学、国語、理科の3教科と学習習慣等の質問に、県下の中学1・2年生が、年間2回、取り組んでいます。四日市市の平均値との比較で、本校の強みや課題が把握できます。生活実態調査とは、本校独自の調査で、全校生徒に年2回実施しています。過去の本校の生徒の状況と比較できます。以上3つの調査の主な結果と分析です。これらのことをもとに、校内の委員会や教科部会を中心に本校の取組や方向性を確認し、授業改善や指導改善につなげていきます。

学力的な面・学習面について

○ 各教科の正答率および各教科の強み・弱みは以下のようになりました。

【表1】		国語	数学	理科
1年生	市平均値と比較して	上回る	上回る	上回る
2年生	市平均値と比較して	少し上回る	上回る	上回る
3年生	全国平均値と比較して	少し下回る	上回る	—

【1年生】●国語：「言葉の意味と使い方」「ことわざの意味と表現」では正答率が大きく上回りました。内容を捉え話し手の考えと比較して自分の考えをまとめるといったように、内容を把握し、理解を深め、表現することが苦手なようです。

●数学：測定・変化と関係について、特に小数の除数の意味の理解、早さと時間と基に道のりを求める問題の正答率は市の平均値よりも大きく上回りました。また、無回答率も市の平均よりも低くなりました。資料から結果を比較し、何倍かを読み取る問題は市平均より正答率が低くなりました。

●理科：すべての領域（エネルギー・粒子・生命・地球）で市平均正答数を上回りました。これまでの学習内容が定着していると考えられます。ただ、実験結果を考察し、正しく記述することや顕微鏡についての理解に課題があることがわかりました。

【2年生】●国語：ほとんどの領域で市平均正答率を上回りました。特に「読む」分野の正答率が高く、普段の授業でも、表面上の読みにとどまらない深い読みができています。「相手に応じて表現を工夫して書く」ことについて課題が見られました。

●数学：測定・変化の関係（関数）の分野は市平均を大きく上回っており、関数の意味の理解、比例定数の意味の理解、中央値の理解について強みがあります。無回答率も市の平均値よりも低く、粘り強く取り組むこともできています。ただ、数と計算の分野では素因数分解や不等式で表すことなど、数の概念に関する知識と処理が弱みとなっています。

●理科：記述式の問題形式の正答率は市の平均値を大きく上回っており、これまでの取り組みの成果と考えられます。また、無回答率も市の平均値よりも低くなりました。質量パーセント濃度・溶解度・重力・ボーリング調査についての設問で課題が見られました。

【3年生】●国語：短歌の表現技法を選択する設問は全国値より高くなりました。一方、条件が複雑な記述問題は全国平均を下回りました。難解な語句を含んだ文章を粘り強く読み理解すること、それを記述することに課題が見られました。無回答率も全国よりも高く、粘り強さに課題が見られました。

●数学：関数に関する問題の正答率は全国平均に比べ高く、思考・判断・表現の問題やデータの活用に関する問題については、全国の正答率よりも大きく上回りました。回転体について課題が見られました。

- 全国学調における本校3年生の各教科に対する意識は次のようになりました。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」(以下、肯定的な回答)と答えた生徒の割合を記載しています。(単位 %)

【表2】	国語 本校/全国	数学 本校/全国
教科の勉強は好きか	58.3/64.3	45.3/57.2
教科の勉強は大切だと思うか	97.7/93.9	85.8/87.2
教科の授業内容はよくわかるか	88.9/82.7	77.6/75.9
教科で勉強したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うか	94.7/90.6	74.7/78.5

- 「教科の勉強は好きか」という問いに対し、肯定的に回答した生徒の割合は、全国平均を下回ってしまいました。しかし、教科の勉強の大切さや学習内容の理解については全国平均と同程度、あるいは上回る値となり、特に国語の学習内容が将来役に立つと考えている生徒の割合は大変高い値となりました。このような意識を持っている生徒が多くいることを念頭に入れ、2学期以降の授業づくり、授業改善に努めていきます。
- みえスタの結果は、【表3】のようになりました。全国学調と同じ設問がないため、正確な比較はできませんが、教科の学習の大切さを伝え、意欲を高められるような授業づくりを進めていきます。

【表3】	1年国語 本校/市	1年数学 本校/市	2年国語 本校/市	2年数学 本校/市
教科の勉強は好きか	62.1/57.5	72.9/65.5	71.7/65.5	55.1/61.4
教科の授業内容はよくわかるか	93.8/86.7	88.1/85.9	92.0/85.2	75.9/79.7

- 「学習内容について、分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」かの問いに対して肯定的に回答した生徒の割合は、1年生 90.4 % (市: 84.5%)、2年生 81.3% (市: 78.0%)、3年生 81.8% (全国: 77.9%) でした。自分の学習を振り返り、次に生かすことが定着しつつあります。
- 「学校以外でどれくらい勉強するか(塾等も含む)」の3年生への設問で、平日2時間以上と答えた生徒の割合は28.8% (全国: 31.7%)、30分未満は21.2% (全国: 17.0%)、休日2時間以上と答えた生徒は31.1% (全国: 36.2%)、1時間未満は44.1% (36.2%) でした。全国平均と比べ、家庭学習の時間が短いことが分かります。家庭で計画的に学習を進める習慣を身につけていきましょう。
- また、みえスタの意識調査結果と成績結果のクロス集計から、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか」の問いに、肯定的に答えた2年生の生徒の国語の平均正答率と否定的に答えた生徒の平均正答率の差は12ポイント(以下、Pt)、数学では14Pt、理科では10Pt ありました。1年生でも同様の傾向があり、国語で15Pt、数学で20Pt、理科では22Pt も差がありました。このことから、授業への取り組み方が学力の定着や向上に大きく影響していることが分かります。
- 家庭等での学習の時間を確保するとともに、自分の興味や自分の苦手や課題を把握し、自分で考えて、計画的に進めることが、学力の定着・向上につながります。また、自分を見つめ、自分で考え、取り組む力が、将来にわたり必要な力であると考えます。
- 国語、数学、理科の3教科に限らず、すべての教科で、全国学調やみえスタの結果を活用し、授業を見直していくことを確認しました。授業を進める中で、「生徒にとって主体的な学びとなっているか」「生徒にとって深い学びとなっているか」を常に意識し、生徒自身が「何がわかったのか」「何ができるようになったのか」「何のために学習しているのか」「この内容が将来どのようにつながっていくのか」等が実感できる授業を目指していきます。

生活習慣・学校生活等について

- 「朝食を毎日食べていますか」の問いに対し、「当てはまる」(つまり、毎日、食べている)と答えた生徒の割合は、1年生から86%、82%、77% (全国平均79%) でした。「どちらかといえば当てはまる」を含めた肯定的な回答をした生徒の割合は、1年生から94%、94%、89% (全国平均91%) でした。つまり、3年生の約1~2割の生徒が朝食抜きで登校していることとなります。朝食は一日のスタートスイッチです。「早ね、早おき、朝ごはん」です。
- 「平日、1日当たりどれくらいテレビゲーム等をしますか」の問いに2時間以上と答えた3年生の割合は51.8%で、4時間以上と答えた生徒は15.9%でした。また、「平日、1日当たりどれくらいSNSや動画視聴等をしますか」の問いに2時間以上と答えた3年生の割合は61.7%で、4時間以上と答えた生徒は15.3% でした。少し表現は違いますが同様の質問に1年生は60%、2年生は69%の生徒が2時間以上と答え、4時間以上と答えた生徒は1年生で21%、2年生で22%でした。
- 「スマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」の問いに、「きちんと守っている」「だいたい守っている」と答えた生徒の割合は、1年生が76%、2年生が75%、3年生が65% でした。また、「約束事はない」と答えた生徒は1年生から順に、9%、14%、24% でした。
- ネットの利用は今や生活に欠かせないものです。大変便利なものですが、扱いや判断を間違えると相手を傷つけたり、トラブルや犯罪に巻き込まれたりする等の危険な側面も持っています。実際に見ているのは画面ですが、その画面の向こう側には生身の「人間」がいることを常に意識し、「本当に正しい情報なのか?」「相手はどう感じるか?」など、正しい判断をしていきましょう。

- 学年が上がるほど、就寝時刻が遅くなる傾向があります。平日、午後11時より遅く寝る生徒の割合は、1年生で26%、2年生で43%、3年生で70%です。日付が変わってから寝る生徒も、1年生で8%、2年生で17%、3年生で35%もいます。また、睡眠時間も短く、7時間以下の生徒の割合は、1年生で18%、2年生で27%、3年生で49%でした。6時間以下の生徒も3年生で9%もいます。
- 成長期は大人よりも多くの睡眠が必要です。中学生の睡眠時間は8～10時間が理想とされていますので、少しでも**早く寝られるよう、帰宅後の生活習慣を見直して**みましょう。

【保護者の方へ】食事の大切さ、就寝時刻や睡眠時間の確保などの生活リズムについて、趣味と学習時間のバランス、そして、スマホ等の利用の仕方など、ぜひ、お子さまとお話してください。特に3年生は今後進路に向けて具体的な準備を進めていく大切な時期を迎えます。ちょうどよい振り返りの時期だと思います。

学校生活について

- 下の【表4】は学校生活についての問いについて、肯定的な回答をした生徒の割合をまとめたものです。1・2年生の欄は、本校/市平均、3年生の欄は、本校/全国平均を表しています。

【表4】	1年生	2年生	3年生
① 学校に行くのは楽しいと思う	89.3/89.8	89.3/86.2	83.5/83.8
② 自分と違う意見について考えるのは楽しい	84.7/81.9	87.7/83.3	84.1/76.2
③ 友達と協力するのは楽しい (3年) 友達関係に満足している	97.2/96.3	97.9/96.3	85.9/90.1
④ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる	89.3/86.7	88.8/87.9	88.8/86.1
⑤ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	76.8/88.0	96.8/92.5	93.5/91.7

- ①の回答を見ると、多くの生徒が学校生活には満足していることがわかります。しかし、1・2年生で10%、3年生で17% (昨年度は23%) の生徒が「学校に行くことは楽しい」と感じていないことに目を向ける必要があります。このことを少しでも解決するために、教員間の情報共有をより密にし、日常の対話やスクールライフノートでのやり取り、教育相談等をより一層、丁寧に行い、生徒に寄り添っていきたくと思います。
- ②の「自分と違う意見について考えるのは楽しい」という問いに対し、肯定的に回答した生徒の割合が多いことは大変素晴らしいことです。学校を始めとする**社会では様々な意見があって当たり前で、自分と違う考え方や意見と出会ったときに、どう感じ、どう対応するかが大切**です。受け入れずに反対したり、距離をとったりするのではなく、自分と違う意見について考えることが楽しいと感じられることは、とても素敵な受け取り方です。多様性の時代をより良く生きていくには、とても大切な力です。
- そのような力を育むために、教科授業や道徳の授業、学級活動等で、話し合う活動を取り入れ、自分の考えを表現したり、相手の考えを聞き、自分の考えを修正したり、お互いに納得できる解を見つけ出したりする経験ができるようにしています。その経験をより効果的にするためには、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むこと、つまり、**授業に主体的に取り組むことが大切**です。

自己有用感・規範意識について

- 下の【表5】は自己有用感・規範意識についての問いについて、肯定的な回答をした生徒の割合をまとめたものです。1・2年生の欄は、本校/市平均、3年生の欄は、本校/全国平均を表しています。

【表5】	1年/市平均	2年/市平均	3年/全国平均
①自分には良いところがあると思う	83.6/80.3	82.3/81.1	76.5/83.2
②将来の夢や目標を持っている	77.4/78.5	72.2/73.3	67.0/66.3
③人が困っているときは、進んで助けている	96.6/93.6	93.6/91.5	94.7/90.1
④人の役に立つ人間になりたいと思う	98.3/97.0	96.8/94.7	97.4/95.2
⑤いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	98.3/97.0	98.4/96.1	94.1/95.7
⑥地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	89.8/83.8	83.4/76.4	82.4/76.1

- **自己有用感とは、自分が有用だと思える感情**です。「自分の存在がだれかの役に立った」「他人に喜んでもらった」「学級や学校、地域に貢献している」と認識したときに、実感できる感情です。したがって、相手の存在なしには生まれてこない感情です。また、「誰かに必要とされている」という感情にもつながります。こういった感情が高まれば、**周囲への貢献意欲も高まり、相手や周囲への感謝の気持ちも芽生えます。社会性の基礎**となる感情です。
- 現在の3年生は、1年時から自信のない回答をする生徒の割合が多い傾向がありました。そのため、1年時の早い段階から、自信を持ち、自己有用感が高まるよう、日々の声掛けを意識したり、褒める機会を増やし

たり、行事や学年集会を工夫してきました。その結果、2年時よりも自己有用感について肯定的な回答をした生徒の割合は高くなりました。特に「自分には良いところがある」と肯定的な答えた生徒の割合は、2年生の同時期の68.8%から8Pt ちかく増えており、一定の成果が得られているものと考えています。今後、**中学校卒業後の進路決定に向け、夢や目標を持ち、前向きに切り拓いていけるよう、支援していきたい**と思います。

- ③～⑤の規範意識に関する設問です。規範意識とは、ルールや決まりを理解し、守ろうとする意識のことで、どの学年も高い値になっています。
- ⑥については、市平均、全国平均を上回っており、地域貢献等の意識が高まっています。とても素敵なことです。最近、地域の様々な団体や関係者に、「**中学生が地域で活躍できる場の設定をつくってほしい**」とお願いをしています。現在、大谷台地区の敬老祝賀会や、海蔵川の清掃ボランティアの募集の案内が学校に届いており、何名かの応募があります。このような場に**中学生が参加し、地域の大人との関わりを通して、自己有用感や規範意識などが育まれていくもの**と考えます。中学生も地域の一員として、様々な場面で活躍してください。募集があったら、ぜひ考えてみてください。
- 2学期には体育祭、文化祭もあります。行事やその取組で、また、普段の授業の中で、認めたり、認められたりする**経験、人の役に立っていると実感できる経験**をしてください、そのためにも「すごいね」「ありがとう」「うれしいわ」など、普段からプラスのコミュニケーションを大切にしていきましょう。

【保護者の方へ】●国立教育政策研究所発行のリーフレット『『自尊感情』？それとも、『自己有用感』？』によると、自己有用感を育むには「褒（ほ）めて（自信を持たせて）育てる」という発想よりも、「認められて（自信を持って）育つ」という発想の方が、子どもの自信が持続しやすいとあります。具体的には「**行事に取り組む、学習に取り組む際などに、子ども自身に目標や工夫する点、努力する点などを考えさせておき、その基準に沿ってどこまで達成できたのかを評価することが『認める』という行為では重要**」になります。それが、『自己有用感』を育むことにつながると書かれています。<https://www.nier.go.jp/shido/leaf/leaf18.pdf>



●ご家庭でも、結果から「良かったね」「頑張ったね」と褒めるだけでなく、どのように取り組んだのか、どんなところを頑張ったのか等、取組の過程を認め、自ら自信を持つようにお話しいただければ幸いです。

●規範意識とは、**集団生活や社会生活におけるきまりやルール、約束などに基づいて、主体的に判断し行動しようとする意識**です。文部科学省は、「規範意識は、家庭において、躾（しつけ）、規則正しい睡眠や食事等の基本的な生活習慣、または家庭の手伝い等に関する教育を土台とし、その土台のもとに、学校教育において、きまりを守ること及び他者との関わりを大事にするための具体的な活動を通じて育まれるものである」としています。家庭での役割や生活習慣の再確認をお願いします。

その他、特徴的な回答について

- 「1・2年生の時、授業でPC・タブレット等を、どの程度使用したか」の問いに対し、「週3回以上」と答えた生徒の割合は85.3%（全国平均64.4%）となり、**大変高い値**となりました。
- 「家には、どれくらいの本があるか」の問いに対し、「100冊以上」と答えた生徒の割合は32.9%（全国平均28.3%）でした。読書が好きな生徒が多いことにつながっていると考えられます。（「**読書が好きか**」の問いに肯定的な回答をした生徒の割合、**1年生：67%、2年生：78%、3年生：72%**）
- 「**新聞を読んでいるか**」の問いに対し、「週に1～3回以上」と答えた生徒の割合は、**12.4%（全国平均7.3%）**でした。昨年度の3年生は10.0%でしたので、昨年度よりも少し増えました。本校は新聞販売店を営むコミュニティスクールの委員さんのご厚意により、毎日、教室に新聞が届けられています。**新聞を読むことで語彙力（ごいりよく＝その人がもっている単語の知識と、それを使いこなす能力）や文章力が向上**します。また、身近な情報だけでなく、政治、経済、国際問題など、**社会情勢や国際情勢を知ることが**できます。記事をじっくり読むことで**自分なりの考えを持つこと**にもつながります。ネット社会だからこそ、新聞の魅力を再認識してほしいと思います。

【お知らせ・お願い】●9月22日（日）に大谷台小学校で敬老祝賀会があります。本校の合唱部+3年生有志の合唱団が出演し、合唱を披露しますので、ぜひ、足を運んでいただき、ご覧ください。

●9月26日（木）の14：30から、本校体育館で2年生の対象に、講師を招き「SNSの安全で安心な利用の仕方等の講座」を開催します。この講座は全学年の保護者の方の参加も可能ですので、お時間がある方はお越しください。詳細は9月11日配信のH&Sをご覧ください。

●10月8日（火）は体育祭です。お時間があればグラウンドでの応援をよろしくお願ひします。PTAのご協力によりYouTube配信も行います。詳細は9月4日配信のH&Sをご覧ください。

●また、体育祭の前日の10月7日（月）の13：30から除草作業および草の袋詰めを行います。全校生徒で翌日の準備と並行して行いますが、お手伝いいただける方は、ご協力をお願いします。作業のできる服装でお越しください。詳細は9月13日配信のH&Sをご覧ください。

●10月15日（月）～17日（木）は学校公開を行います。お時間があれば、お越しください。

●10月18日（金）は中体連三泗地区新人戦、11月1日（金）は文化祭です。